

令和6年度 第3回倉吉市国民健康保険運営協議会（概要）

日時：令和7年2月20日（木）

午後2時00分から午後3時20分まで

場所：倉吉市役所本庁舎 大会議室

【出席者】

- ・委員 芦崎 理千、福井 満寿美、山下 千之、森石 学、森本 英嗣、小谷 弓子
小谷 秀昭、春木 眞知子、檀原 三七子、明里 利彦、楠 洋司（11名）
- ・事務局 健康福祉部長 長石 英雄、保険年金課長 涌嶋 弘美
長寿社会課長 北中 恵里子
健康推進課 大羽 みゆき、河本 一道 長寿社会課 河本 千鶴栄
保険年金課 伊東 利恵、三浦 貴弘、佐伯 香里
（欠席委員：長谷川 理恵、安梅 正則、福嶋 寛子、宮崎 聡、上本 武）

【日程1 開会】

【日程2 新委員の紹介】

- ・公益代表の生田委員が所属団体の退会により、後任として推薦された明里委員を新たに委嘱。

【出席者数報告】

- ・委員16名のうち11名出席、半数以上の出席となるため、倉吉市国保条例施行規則第2条の規程に基づき、本日の会議は成立。

【日程3 会長の選任】

- ・会長は、国民健康保険法施行令の規定により公益を代表する委員の中から選出。
- ・事務局一任により、自治公民館連合会会長の明里委員を提案、承認される。

【会長あいさつ】

【日程4 議事録署名委員の決定】

- ・倉吉市国保条例施行規則の規程により、議事録は事務局が作成し、議事録署名委員は議長が指名することとなっている。
- ・議事録署名委員は福井満寿美委員と檀原三七子委員にお願いする。

【日程5 審議事項】

（1）倉吉市国民健康保険条例等の一部改正について

- ・倉吉市国民健康保険条例等の一部改正について説明。
（賦課限度額及び軽減判定所得基準額の見直し等による条例の一部改正）

（質疑）

- ・それぞれの引き上げについての影響は。
➢賦課限度額の引き上げ・・・厚生労働省が設けている国保料の限度額の超過世帯割合を1.5%に近づけるよう、段階的に引き上げる運用上のルールに従ったもの。
軽減判定所得基準額の見直し等・・・所得水準の全体的な上昇の影響で軽減を受けている世帯の範囲が縮小しないよう改正されるもの。

議長

事務局

委員

事務局

議長	<ul style="list-style-type: none"> ・原案のとおり承認された。
事務局	<p>(2) 令和7年度予算(案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度予算(案)について説明。 <p>(質疑)</p> <p>〈予算関係〉</p>
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・財産収入が100倍くらい上がっている原因は。運用益だけで予算が上がるのか。 ➤利率の上昇で基金の運用益が約10倍となり、運用益だけで上がったもの。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・歳出の国保事業費納付金が62,983千円増えた理由は。 ➤県への納付金で、県内の医療費全体の増加を踏まえて増額されたもの。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・財政調整基金からの繰入金4,000万円増加は、歳出に伴う増額ということか。 令和7年度末で4億2,000万円余の基金残高は、今後減っていくのでは。 ➤繰入金については歳出に伴う増額。今年度末の決算状況等によるが、現段階ではこの1億6,000万円の繰り入れが必要と考えている。 基金残高はこれから減っていくだろうという見込みのもと、概ね保険料率は2年を目途に改定について協議を行う予定。 国民健康保険料の県完全統一の時期が未定のため、緩やかに基金残高を減らしていくような形で保険料の調整を進めて行く考え。
委員 事務局	<p>〈健康セミナー関係〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナーについて、1カ所でどこかで開催ということか。 ➤未来中心のセミナールームを借りて、数回開催する予定。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・eスポーツはどのようなことを考えているのか。 ➤鳥取県eスポーツ協会と連携し、実施可能な種目等の検討段階に入っており、今後も連携して事業実施を予定している。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・全6回のメニューの一部だけ参加は可能か、全6回すべて参加でないと駄目か。 ➤全6回のうち、自分の興味のあるところだけでも参加可能と考えている。
委員	<p>(意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者は家から出かけるのもちょっと大変。スマートフォン等も日常的に使われているのか、自分自身eスポーツをしたことがなく、簡単に使えない印象。 ・女性は比較的集まる場所を求めて動く傾向があるが、独居等の男性はなかなか地域と繋がってもらえないところにいる病が起きるのかなと思う。 包括支援センター等とも繋がりがながらそういう方を発見し、地域の中で助け合い支え合っていけるといいと思う。 ・市役所も地域の繋がりや見守り体制を作っていく地道な努力も必要。 ・地域を活性化させるために一番必要なのは強いリーダーだと思う。セミナーをする中で、地域リーダーになれるような人を育成する機会があればいいと思った。 ・コロナ禍後、規制緩和が進む中で、いろんな世代が再び集まって飲食を共にし、一緒にいろんなことが楽しめるというようなところが伝われば、また行ってみようか

	<p>などということになるんじゃないかと思う。そのあたりの動機づけの部分は大分考えないと、広報だけではなかなか出かけて行かないと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナーが事業化されれば、コミュニティセンター等含めきちんとPR周知していただければと思う。
事務局	<p>➤コロナ禍以降、大きな集まりや世代間の交流がなくなってきているところもあり、運動など比較的簡単なところから取り組みやすいよう、eスポーツを挙げて、実際みなさんでやりとりして知ってもらえたらと企画したもの。</p> <p>7年度の開催状況を踏まえて次年度に繋げていきたいと考えており、被保険者の方の興味や集まりやすい項目を模索していきたいところもあり、全6回6種類の講演会を開こうというところ。</p> <p>➤健康セミナーとは別として、高齢者の様々な問題については、重層的支援ということで、市の福祉分野がしっかり連携をとって、見落とさないような支援を続けていきたいという風に思っている。</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・原案のとおり承認された。
事務局	<p>(3) 令和7年度倉吉市国民健康保険事業運営に関する事業計画(案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度倉吉市国民健康保険事業運営に関する事業計画(案)について説明。 <p>(質疑)</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者の適用について、社保喪失後の国保未加入防止のため、市側から国保加入手続きの勧奨を行うということか。
事務局	<p>➤市側が確認をしているのは、国保資格を持った状態で社保取得した場合、資格重複となるため、国保喪失の手続きを案内するもの。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・滞納者を鳥取中部ふるさと広域連合へ徴収委託する基準は設けられているか。
事務局	<p>➤分納不履行、通知に無反応、少額分納を繰り返し滞納額が膨らむような人を委託している。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・委託後の取り組みとしてはどのようなものか把握されているか。
事務局	<p>➤鳥取中部ふるさと広域連合税務課が滞納者と接触を持ち、財産調査や家宅搜索等を行い、自主納付を勧めてもなかなか納付がない場合は差し押さえを行っている。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・不納欠損が300万円程あるが主な欠損理由は。
事務局	<p>➤執行停止中で、時効完成によるものが多い。理由は、生活困窮や財産無し、所在不明など該当するもののみで執行停止している。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・料は時効が2年、比較的早い段階で不納欠損処分となってしまうということか。
事務局	<p>➤時効が短いところもあり、徴収担当は必ず時効を意識した取り組みを行っている。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診・特定保健指導の実施率について、例年と比べ令和6年度の状況は。
事務局	<p>➤令和6年度については、2月末までが受診可能な時期であるため、現時点では把握できていないが、今回、特定健診の受診勧奨はがきの送付を5月に実施したことで6～7月の受診者が多く、前半は若干受診率が上がっていたと分析している。</p>

議長	<ul style="list-style-type: none"> ・原案のとおり承認された。
事務局	<p>【日程6 報告事項】</p> <p>(1) 第1期倉吉市国民健康保険データヘルス計画最終評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1期倉吉市国民健康保険データヘルス計画最終評価について説明。(質疑) ・特になし
事務局	<p>(2) 令和6年度高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施状況について説明。(質疑)
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者が75歳から80歳に限定されており、80歳を超えた人も対象にする必要があると思うが、そこは保健師等スタッフのマンパワーの問題か。
事務局	<p>➤もちろんそこが一番ある。話しをするうえで、市側としての指導が75歳から80歳くらいの方が取り組んでいただきやすい世代というところもある。</p>
委員	<p>(意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンパワーのところはどこでも一番困っており、いろんな分野で大きな課題。 ・全世代が繋がっていくような関係性の中で、「楽しい」ことを仕掛けていくことが一番必要なこと。地域の中で独自のものを工夫して仕掛けてもらうというところに、行政側に接点を作っていただくことができればいいと思う。 ・地域の活動において、子どもたちが上の世代と関わることで、将来何をすればいいかという理解に繋がり、動ける人を作るということもある。人口減少の中、工夫して助け合っていくことをしないといけないところにきているかなと思う。 ・今の時代は福祉と防災がかなり大きなテーマ。少子高齢化で地域の活性化も難しくなっている時代だが、災害時に地域住民をどうやって助けるのか、災害だけでなく普段からの見守りなど、本当はもっとたくさんの方をみていただくのがいい。 ・財政上や定数管理等の問題もあり、保健師の増員は難しいとは思いますが、そのあたりを手厚くしてもらいたい。
事務局	<p>➤地域でも役員が減少しているところも勘案して、地域の方と話し合いながら、協力し引き続き行っていきたい。</p>
事務局	<p>【日程7 その他】</p> <p>今後の開催予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の決算報告 令和7年7月下旬～8月上旬の間 1回 ・子育て支援金の創設に伴う保険料の改定について 2回から3回 時期未定 ・令和8年度の予算等 令和8年2月頃 1回
	<p>【日程8 閉会】</p>